

## 南海本線 二色浜駅 構内横断踏切（貝塚市）での「エスコートゾーン」設置について

南海電気鉄道株式会社

## 【概要】

南海本線 二色浜駅構内のホーム横断踏切を視覚障がい者が安全に横断できるようにするため「エスコートゾーン」を設置する。

## 【視覚障がい者用誘導表示（エスコートゾーン）について】

- 視覚障がい者用誘導表示（エスコートゾーン）は、道路における横断歩道を利用する視覚障がい者に対し、安全で利便性を高めることを目的に、平成 19 年に警察庁が「エスコートゾーンの設置に関する指針」を策定し、道路において設置を進めているものであるが、踏切内においては、同指針の対象となっていない。
- しかしながら大阪府では、府道上にある踏切において、視覚障がい者の安全かつ円滑な横断が必要であるとの観点から、平成 22 年度に阪急服部踏切、平成 25 年度に南海二色浜 4 号線踏切、同樽井 5 号踏切の 3 ヶ所でエスコートゾーンが整備済みである。



※平成 25 年度施工 南海二色浜 4 号線踏切状況写真

## 【計画】

二色浜駅（対面式ホーム）については、難波行きホームに改札口があり、和歌山行きホームに行くためには、渡線路（構内踏切）を渡らなければならないため、幅 4.5m の渡線路の中央部にエスコートゾーンを設置する。

## 【検討事項】

二色浜駅構内の渡線路（構内踏切）は、南海電気鉄道管理区域内の線路敷であり道路ではないため、指針の適用を受けるものではないが、指針に準じるものとして整備するに当たり、特別に配慮すべき事項はないか。

【南海 二色浜駅 状況写真】



難波行きホームから和歌山行きホームを眺める

二色浜駅（対面式ホーム）については、難波行きホームに改札口があり、和歌山行きホームに行くためには、渡線路（構内踏切）を渡らなければならないため、幅 4.5mの渡線路の中央部にエスコートゾーンを設置する。